

上三川町第 7 次総合計画後期基本計画
中学生・高校生アンケート調査結果
報告書

令和 2 年 2 月

■ アンケート調査の概要及び回答者の属性

○ 調査の概要

1) 調査目的

上三川町第7次総合計画後期基本計画及び次期まち・ひと・しごと創生総合戦略策定にあたり、これからの上三川町を支える若者の今後のまちづくりに対する意向を把握するため、上三川町との関わりが深く、将来について真剣に考える機会の多い中学生・高校生を対象としたアンケート調査を実施する。

2) 調査対象及び調査方法

—調査1：中学生アンケート調査—

- (1) 調査対象 町内の3つの中学校（上三川中学校・本郷中学校・明治中学校）に通学する中学3年生の男女全員
- (2) 調査方法 アンケートシートの配付・記入依頼により実施
- (3) 調査時期 令和1年11月

—調査2：高校生アンケート調査—

- (1) 調査対象 県立上三川高校に通学する高校3年生の男女全員
- (2) 調査方法 事務局にて対象となる各学校に調査票（人数分）を直接持参・回収
各学校・学級を通じ生徒達への調査票の配付・記入依頼・回収を実施
- (3) 調査時期 令和1年11月

3) 配布数及び回収結果

	調査1	調査2
	中学生アンケート調査	高校生アンケート調査
配付数	328人	159人
回収数	318人	144人
回収率	97.0%	90.6%

4) 集計・分析等に関する留意点

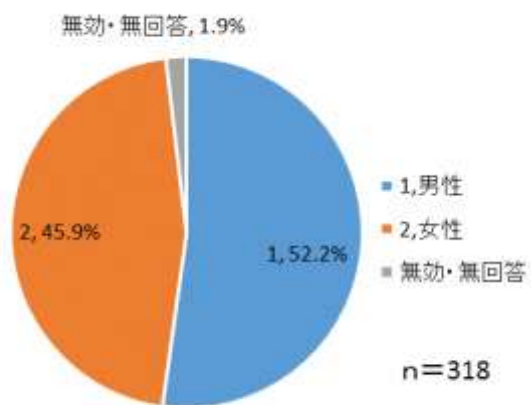
- ①比率は百分率(%)で表し、小数点以下第2位を四捨五入して小数点第1位まで表示した。四捨五入したため、百分率の合計が100%にならないことがある。
- ②基数となるべき実数は、“n=〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100%として算出している。
- ③回答が2つ以上ある場合は表内の構成比の合計が100%を超え、無回答分の構成比を含めば、回答が2つの場合は200%、3つの場合は300%となるよう表示している。その場合、構成比の読み方は、1人が同じ答えを複数回挙げることは考えられないため、例えば、回答者比率が30%とある場合は、構成比の合計が100%の時と同様、全体の30%の人がその答えを挙げたと読むことができる。
- ④回答設定数を上回って回答した場合には無効としている。
- ⑤問の中には「○を選んだ方は問○にお進みください。」というような様々な制限があり、回答者の数が少ない間も含まれる。クロス分析においても同様、項目によっては回答者が少なく、有意性が低い場合がある。

※中学生アンケート調査における「前回との比較」の際には、平成26年11月実施の調査結果を前回の値として使用している。

調査 1 中学生アンケート調査

1－1 回答者の属性

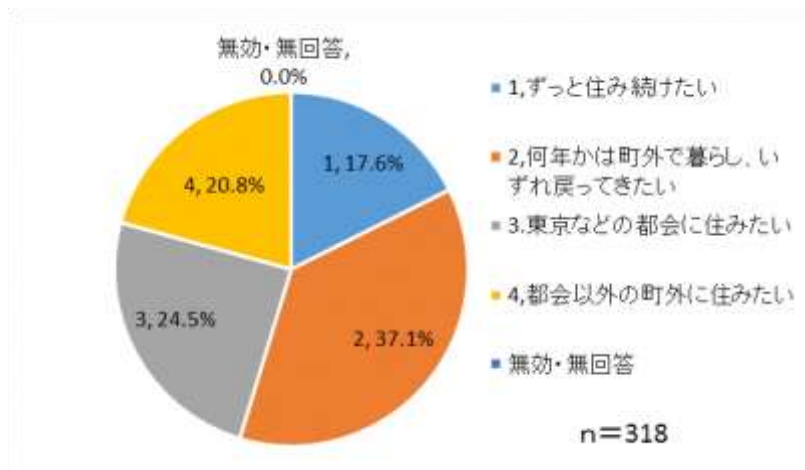
1) 性別 [単数回答]



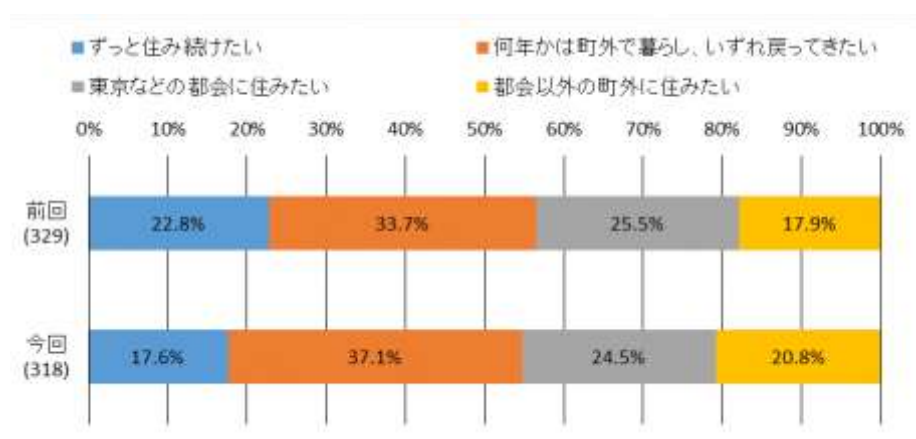
1－2 上三川町への定住意向・愛着度について

1) 上三川町にこれからも住み続けたいか〔単数回答〕

図表 定住意向（全体）



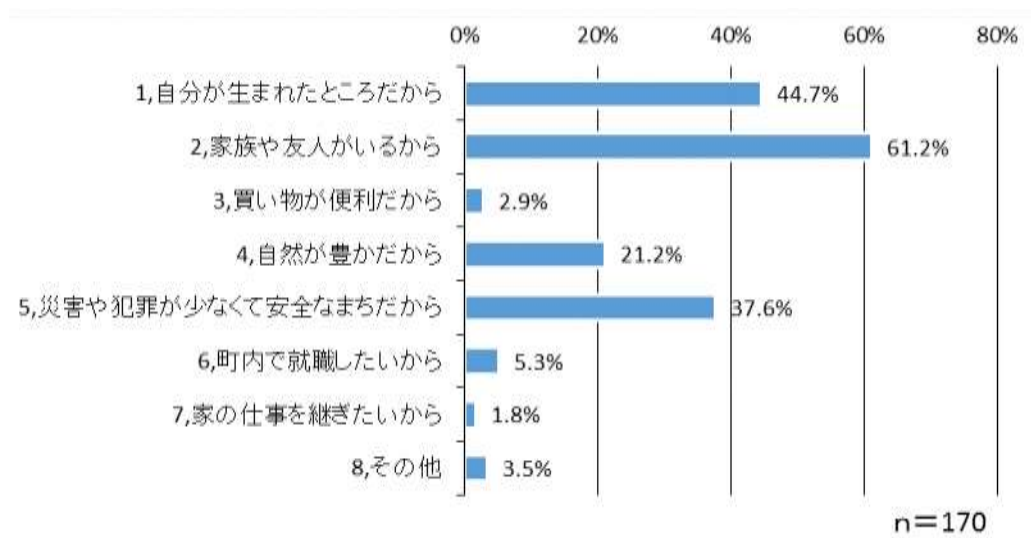
図表 定住意向（前回との比較）



- “ずっと住み続けたい” “何年かは町外で暮らし、いずれ戻ってきたい” の合計（＝ “上三川町内に住みたい”）が 54.7%と半数をやや上回る。
- 前回結果との比較では “上三川町内に住みたい” の回答割合はやや低下の傾向にある。

2) 上三川町に住み続けたい・いずれ戻ってきたいと思う理由〔複数回答〕

図表 住み続けたい・戻ってきたい理由（全体）

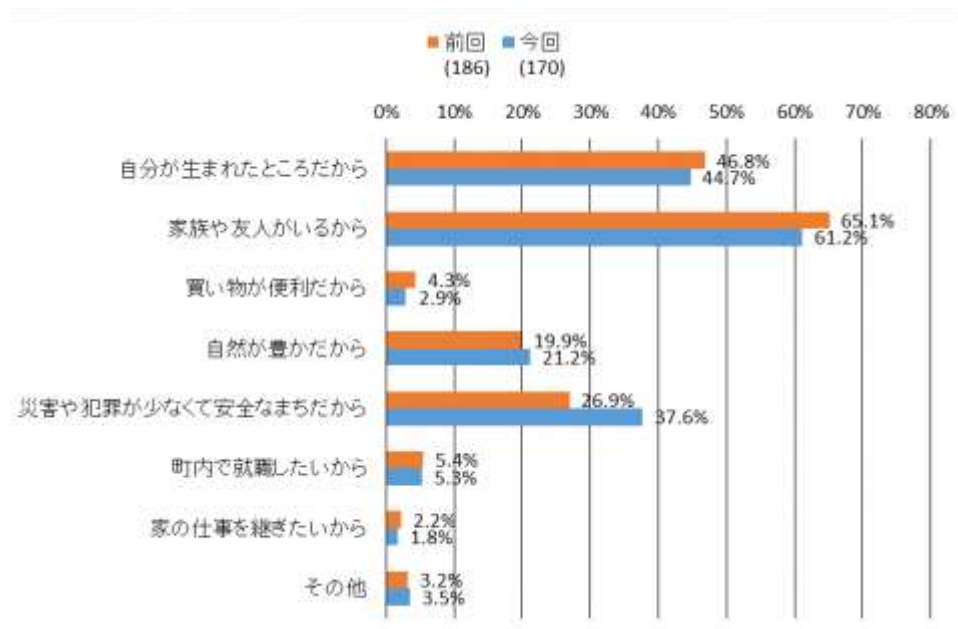


－『その他』意見の趣旨－ ※（ ）内の数値は意見数

- ・一度外に出て、様々なことを体験したり知りたいから。
- ・交通の便も新4号があり良いし、医療費が中学まで無料など、暮らしていて不自由はないから。
- ・土地勘があるから。
- ・すごく田舎じゃないけど、都会すぎないのが好きだから。
- ・他の町に住む理由がないから。
- ・関東は交通の便が良いからそのままでよい。

○ “上三川町内に住みたい”理由については、“家族や友人がいるから”が約6割、“自分が生まれたところだから”が4割超となっており、地元コミュニティや自らの故郷に対する愛着が大きな要因となっていることがうかがえる。

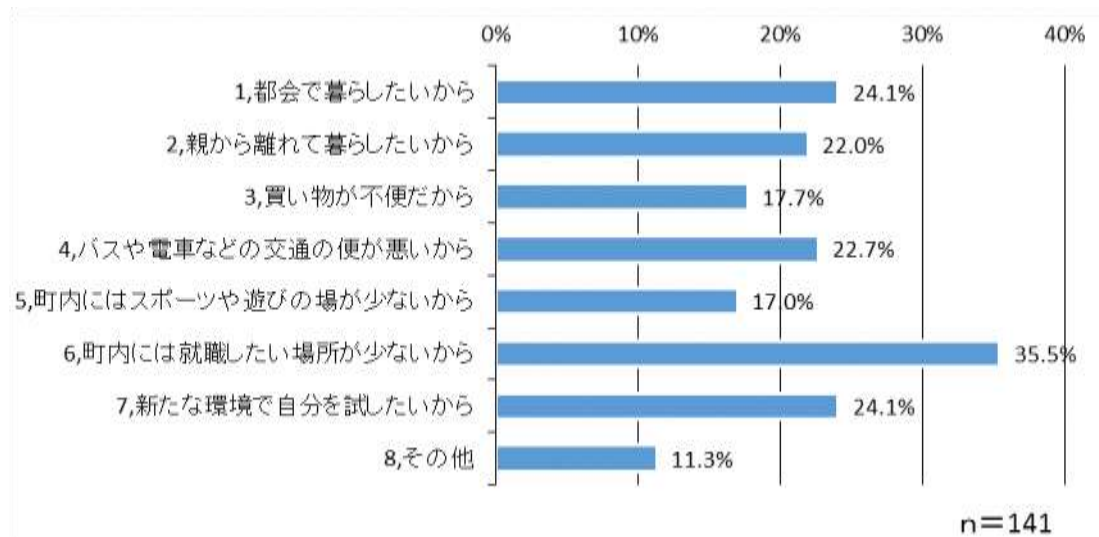
図表 住み続けたい・戻ってきたい理由（前回との比較）



○前回結果との比較では“家族や友人がいるから”“自分が生まれたところだから”の回答割合がやや低下し、一方で、“災害や犯罪が少なく安全なまちだから”の回答割合がやや増加するなど、安全・安心に対する希求の高まりがうかがえる傾向にある。

3) 東京などの都会に住みたい・町外に住みたいと思う理由〔複数回答〕

図表 都会に住みたい・町外に住みたい理由（全体）

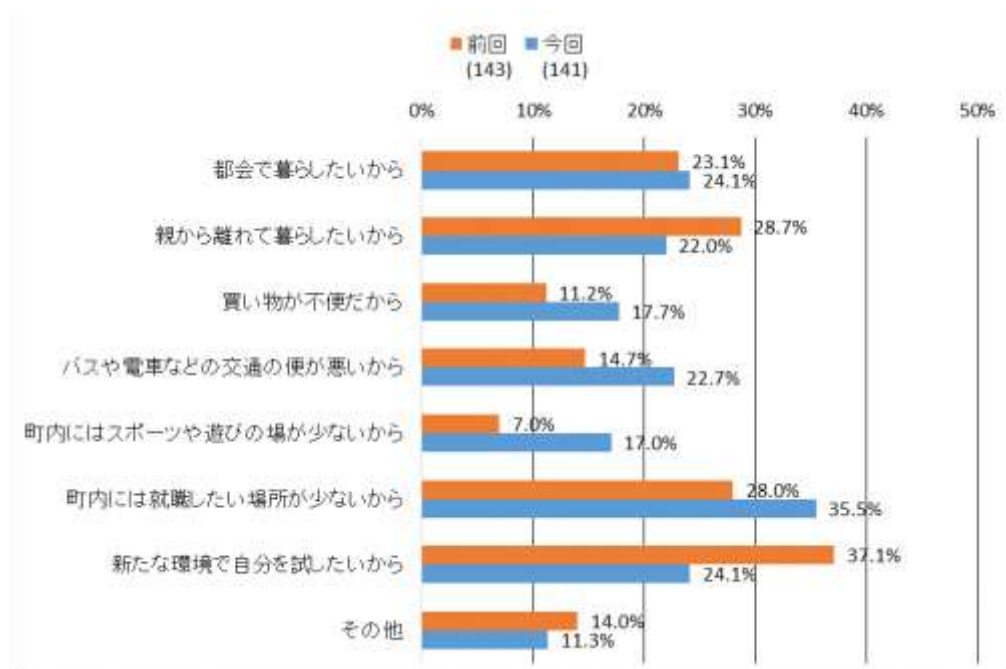


－『その他』意見の趣旨－ ※（ ）内の数値は意見数

- ・ 将来就きたい仕事が町外のため（4）
- ・ 希望する進学先が町外のため（2）
- ・ スポーツを極めて、県外で勝負したい。
- ・ 子育ての時に、もっとサポートがあるところがいいから。
- ・ 秋葉原の近くがいいから。
- ・ 自然に囲まれた生活をしたいから。
- ・ 他の場所も知りたいから。
- ・ 自分が生まれたところだから。
- ・ 遊べるところが少ない。
- ・ 親が離れろと言うから。
- ・ 日本の未来は良くないから。
- ・ 海がないので津波がこないし、都会ではないのでテロやミサイルがこないと思うから。

○ “町内には就職したい場所が少ないから” が3割超、“都会で暮らしたいから” “新たな環境で自分を試したいから” が約4人に1人の回答割合となっており、定住の場と希望の職種に就業できる環境との関連性がうかがわれる結果となっている。

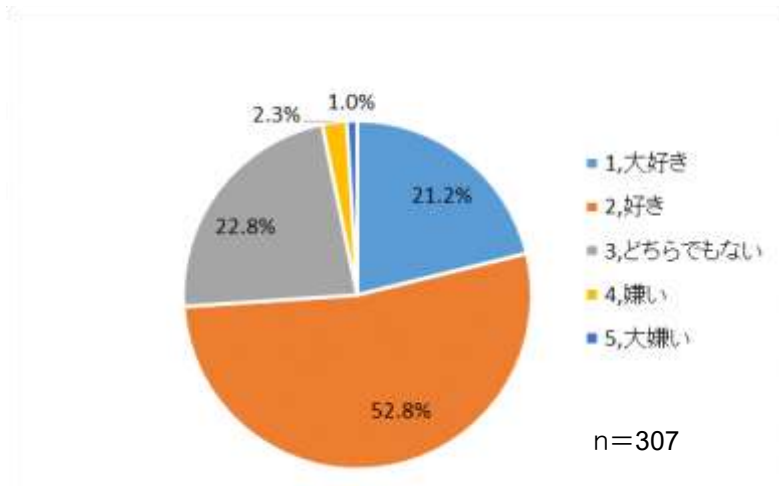
図表 都会に住みたい・町外に住みたい理由（前回との比較）



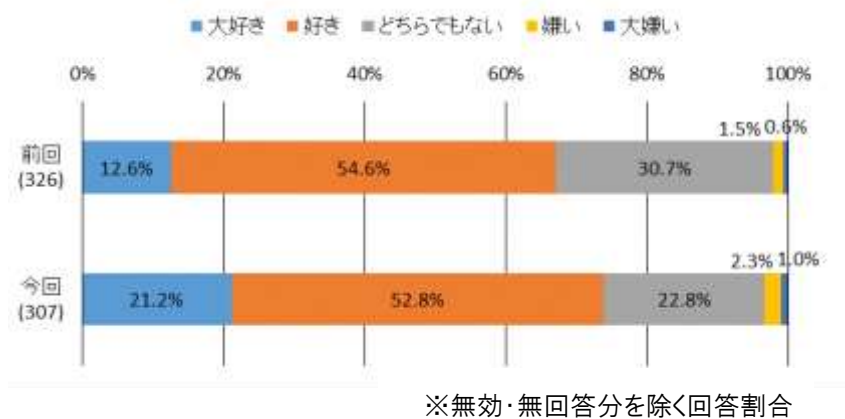
○前回結果との比較では、“町内にはスポーツや遊びの場が少ないから”“バスや電車などの交通の便が悪いから”“町内には就職したい場所が少ないから”“買い物が不便だから”の回答割合が増加しており、希望の職種に就業できる環境のほか、生活全般の利便性や質の向上に対する希求の高まりがうかがえる傾向にある。

4) 上三川町に対する愛着度〔単数回答〕

図表 愛着度（全体）



図表 愛着度（前回との比較）

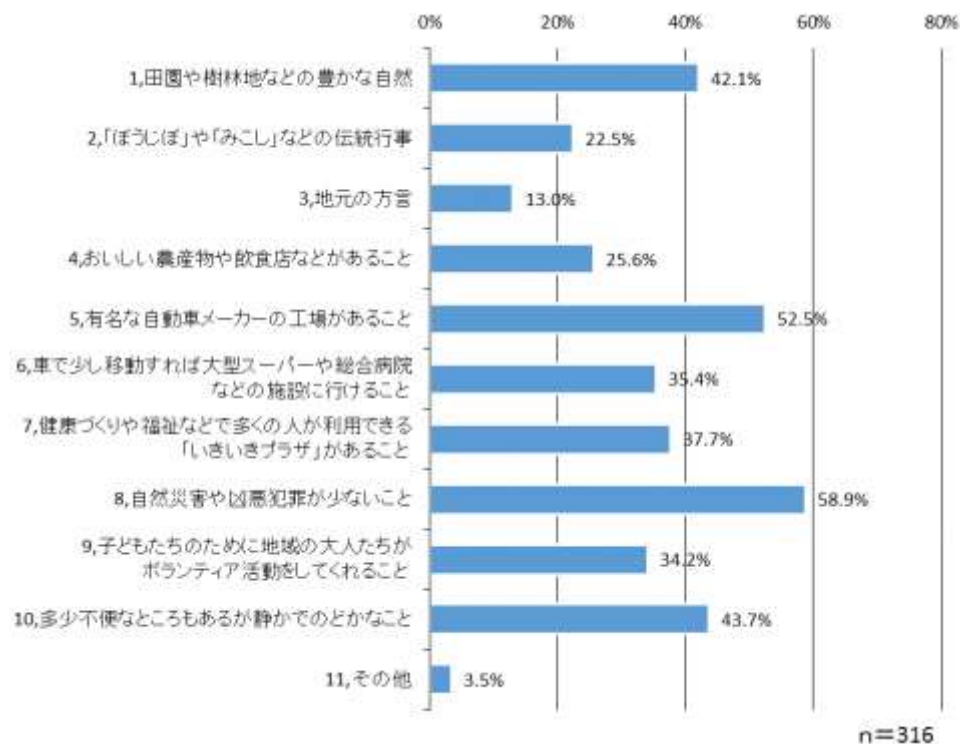


- “大好き” “好き” の合計（＝ “上三川町に愛着”）が 74.0%と多数になっている。
- 前回結果との比較では “大好き” の回答割合が増加し、“上三川町に愛着” の回答割合も増加の傾向にあるなど、町に対する愛着度の高まりがうかがえる。

1－3 上三川町のこれからのまちづくりについて

1) 上三川町で自慢したいこと・将来に残したいこと〔複数回答〕

図表 自慢したいこと・将来に残したいこと（全体）

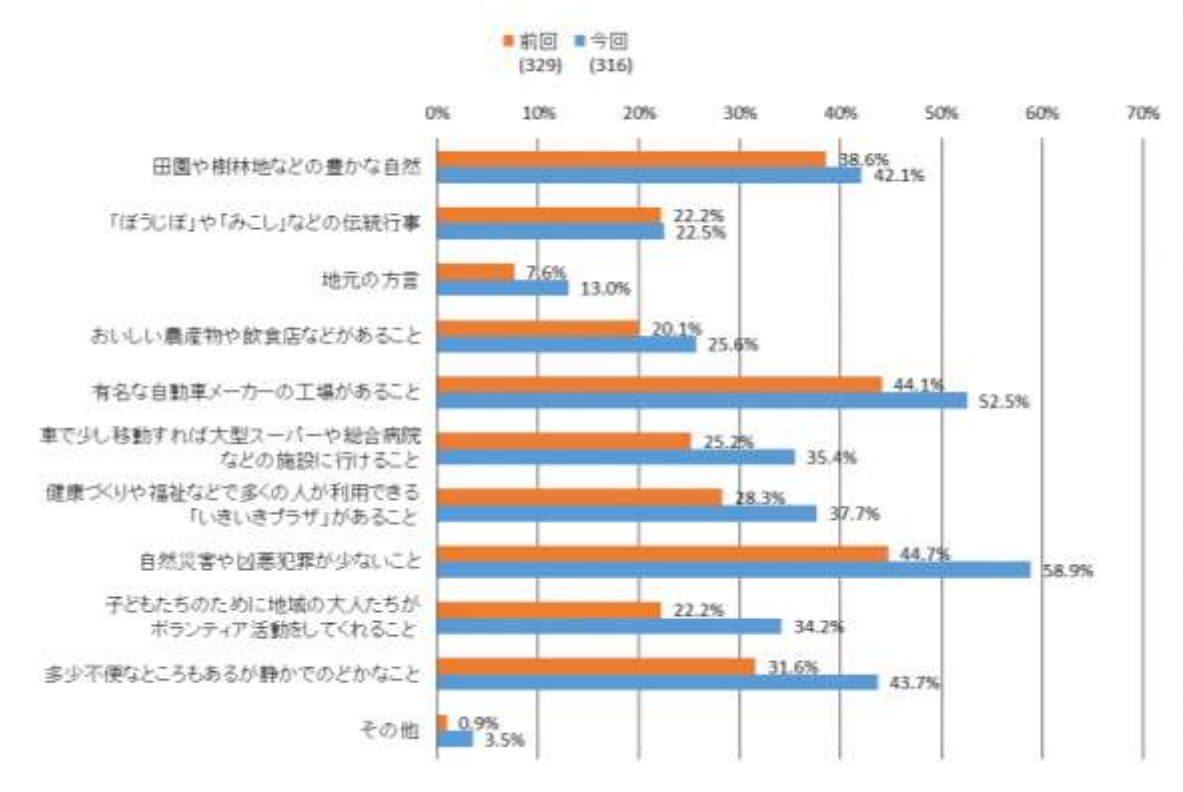


－『その他』意見の趣旨－ ※（ ）内の数値は意見数

- ・ 中学三年生までの医療費助成（3）
- ・ 町民の人柄の良さ（3）
- ・ 全部
- ・ 夏はあんまり暑くならないから。
- ・ 自転車でインターパークに行ける。

○ “自然災害や凶悪犯罪が少ないこと” が 58.9% で最多となり、次いで “有名な自動車メーカーの工場があること” が約 5 割、“多少不便なところもあるが静かでのどかなこと” “田園や樹林地などの豊かな自然” が約 4 割と上位を占めており、安全・安心な環境や広く認知されている町の特徴的な要素を大切に思う傾向がうかがえる。

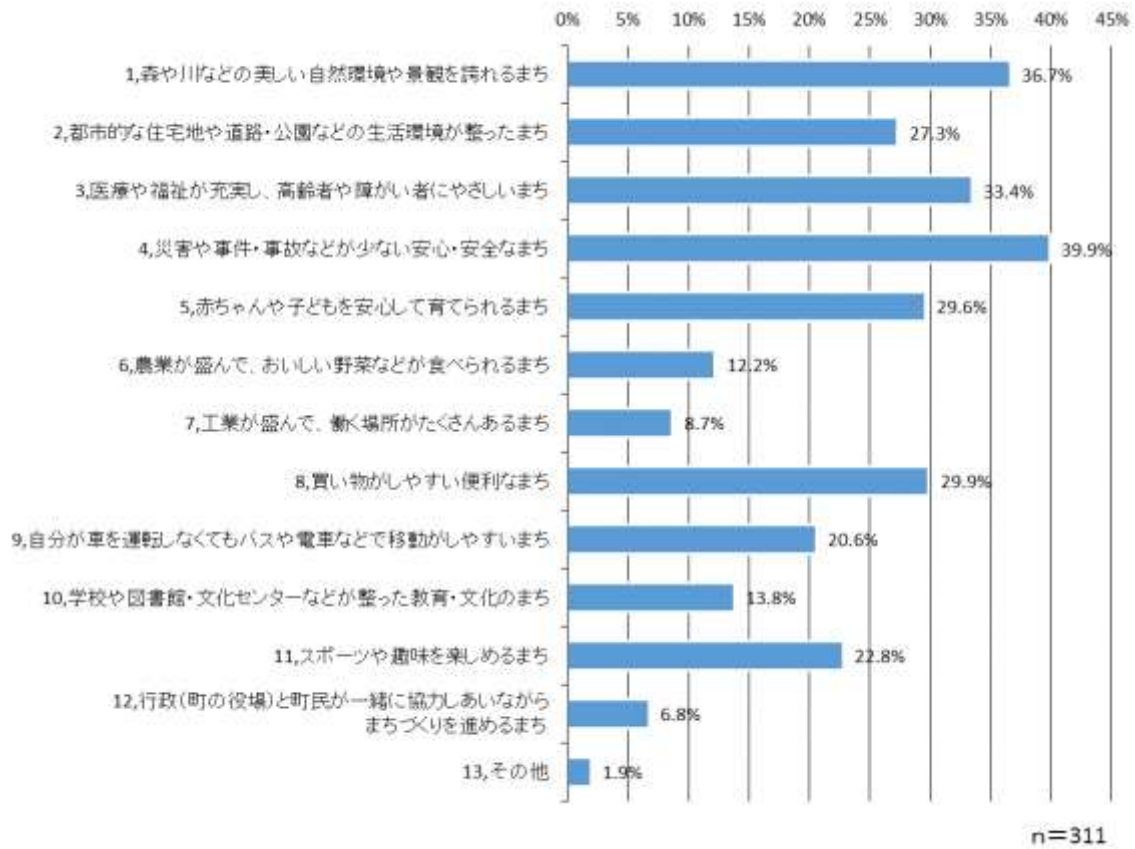
図表 自慢したいこと・将来に残したいこと（前回との比較）



○前回結果との比較では、“自然災害や凶悪犯罪が少ないこと”“多少不便なところもあるが静かでのどかなこと”“子どもたちのために地域の大人たちがボランティア活動してくれること”“車で少し移動すれば大型スーパーや総合病院などの施設に行けること”の回答割合が増加の傾向にあり、安全・安心で物静かな環境を大切に思う傾向が強まっていることがうかがえる。

2) 目指すべきまちの姿〔複数回答〕

図表 目指すべきまちの姿（全体）

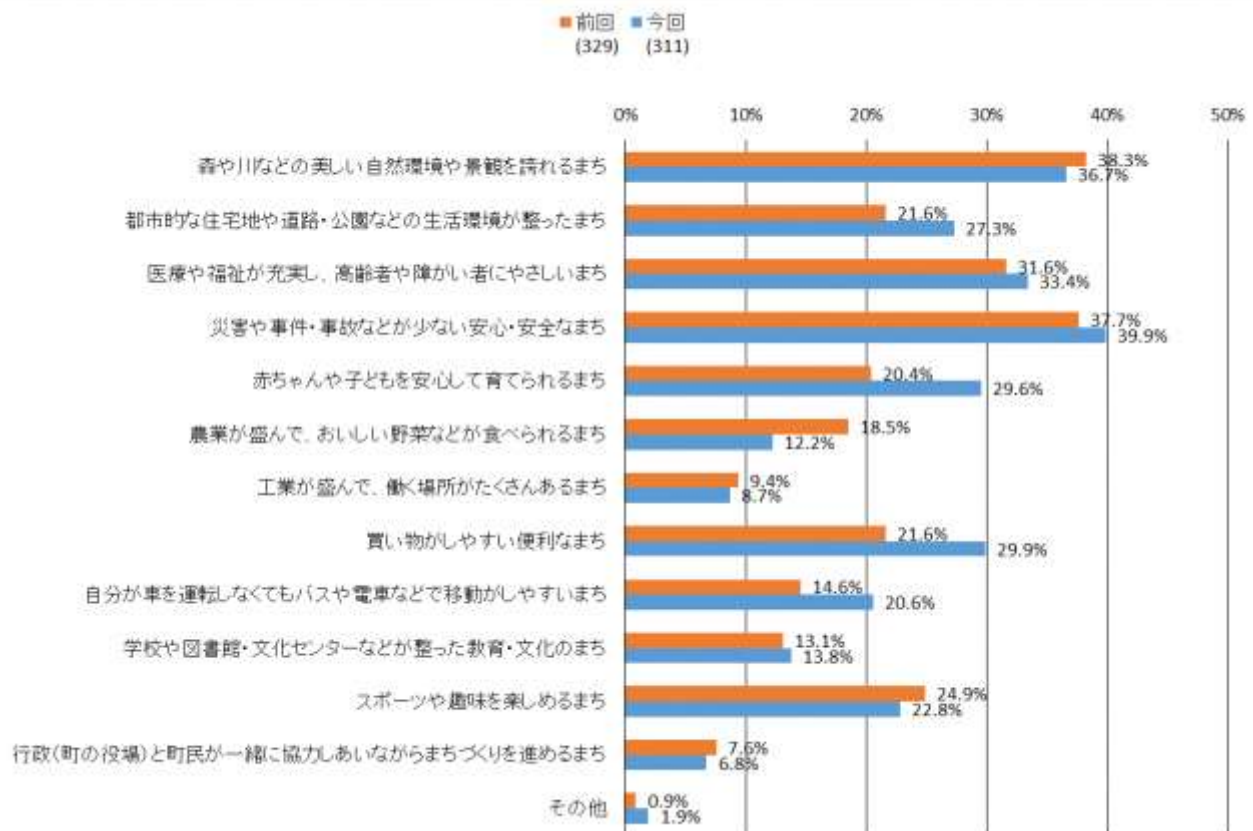


ー『その他』意見の趣旨ー ※（ ）内の数値は意見数

- ・都市的な住宅地と美しい自然環境が融合した町
- ・遊べるところが多く、皆が楽しめる町
- ・交通の便が良い町（バス、電車、駅など）
- ・日本一美しい町
- ・音楽にあふれる町
- ・道路の整備をする町

○ “災害や事件・事故などが少ない安心・安全なまち” が約4割で最多となり、次いで“森や川などの美しい自然環境や景観を誇れるまち” “医療や福祉が充実し、高齢者や障がい者にやさしいまち” が3割超、“買い物しやすい便利なまち” “赤ちゃんや子どもを安心して育てられるまち” が約3割と上位を占める。

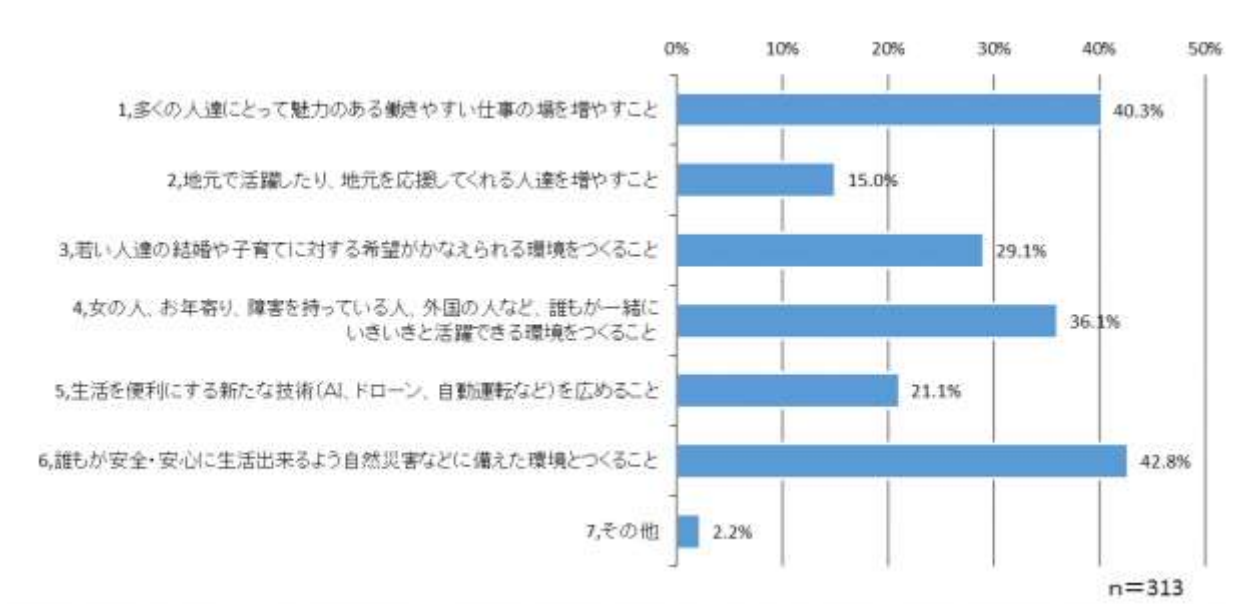
図表 目指すべきまちの姿（前回との比較）



○前回結果との比較では、“赤ちゃんや子どもを安心して育てられるまち” “買い物がしやすい便利なまち” “自分が車を運転しなくてもバスや電車などで移動がしやすいまち” “都会的な住宅地や道路・公園などの生活環境が整ったまち” の回答割合が増加の傾向にあり、子育て環境をはじめ、生活全般の利便性の向上に対する希求の高まりがうかがえる。

3) 住みたい環境となるために積極的に実施すべき取組〔複数回答〕

図表 積極的に実施すべき取組（全体）



－『その他』意見の趣旨－ ※（ ）内の数値は意見数

- ・公共交通の整備（4）
- ・商業施設や娯楽施設を整備する。（2）
- ・町を活性化すること。

○“誰もが安全・安心に生活出来るよう自然災害などに備えた環境をつくること”が42.8%で最多となり、次いで“多くの人達にとって魅力のある働きやすい仕事の場を増やすこと”が約4割、“女の人、お年寄り、障がいを持っている人、外国の人など、誰もが一緒にいきいきと活躍できる環境をつくること”が3割超で上位を占める。

1-4 自由意見

図表 町長になったら町のためにどのようなことがしたいか



※自由意見内容を項目ごとに分類し件数を把握

調査 2 高校生アンケート調査

2-1 回答者の属性

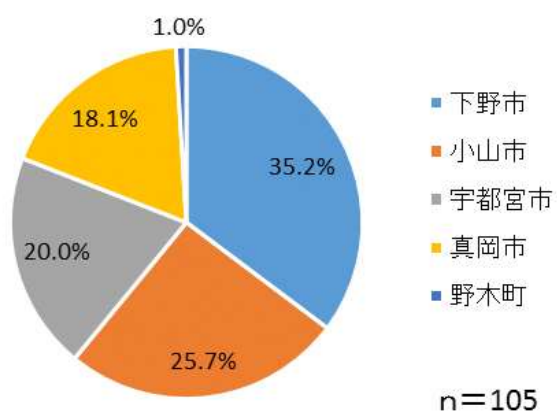
1) 性別 [単数回答]



2) 住まいの場所 [単数回答]

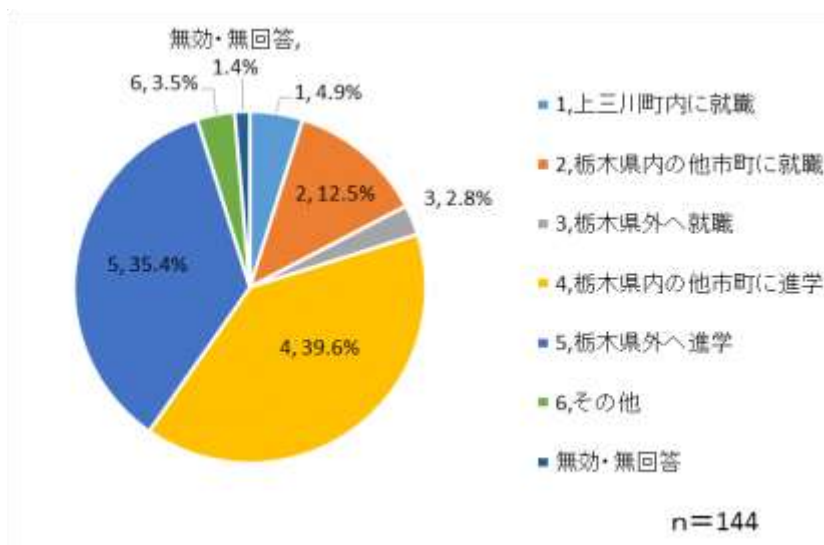


“上三川町外”と
回答した人



3) 卒業後の進路 [単数回答]

－全体－



－『栃木県内の他市町に就職』－ ※（ ）内の数値は意見数

- ・宇都宮市（5）
- ・真岡市（3）
- ・下野市（2）
- ・佐野市
- ・栃木市
- ・日光市

－『栃木県外へ就職』－ ※（ ）内の数値は意見数

- ・茨城県
- ・神奈川県
- ・東京都

－『栃木県内の他市町に進学』－ ※（ ）内の数値は意見数

- ・宇都宮市（27）
- ・佐野市（8）
- ・小山市（7）
- ・足利市（5）
- ・栃木市（4）

－『栃木県外へ進学』－ ※（ ）内の数値は意見数

- ・埼玉県（18）
- ・東京都（14）
- ・茨城県（7）
- ・神奈川県（2）
- ・山形県
- ・福島県
- ・千葉県

－『その他』－ ※（ ）内の数値は意見数

- ・自衛隊（2）
- ・東京都
- ・未定（2）

- “栃木県内の他市町に進学” が 39.6% で最多となり、次いで “栃木県外へ進学” が 35.4% となっている。
- “栃木県内の他市町に進学” では宇都宮市を進路とするケースが多く、“栃木県外へ進学” では埼玉県・東京都など東京圏を進路とするケースが多くなっている。

－性別・住まい別－

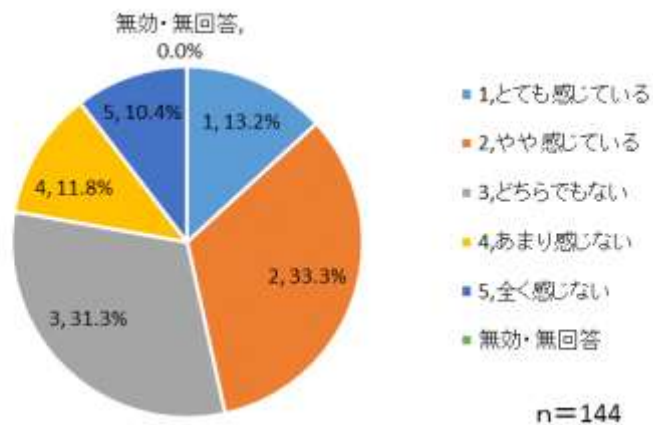


- 男性では“栃木県内の他市町に進学”“栃木県外へ進学”が35.3%で同数、女性では“栃木県内の他市町に進学”が42.7%で最多となっており、“上三川町内に就職”する割合は男性が、“栃木県内の他市町に就職・進学”する割合は女性が高くなっている。
- 町内在住では“栃木県外へ進学”が47.2%で最多となり、町外在住では“栃木県内の他市町に進学”が41.9%で最多となっている。

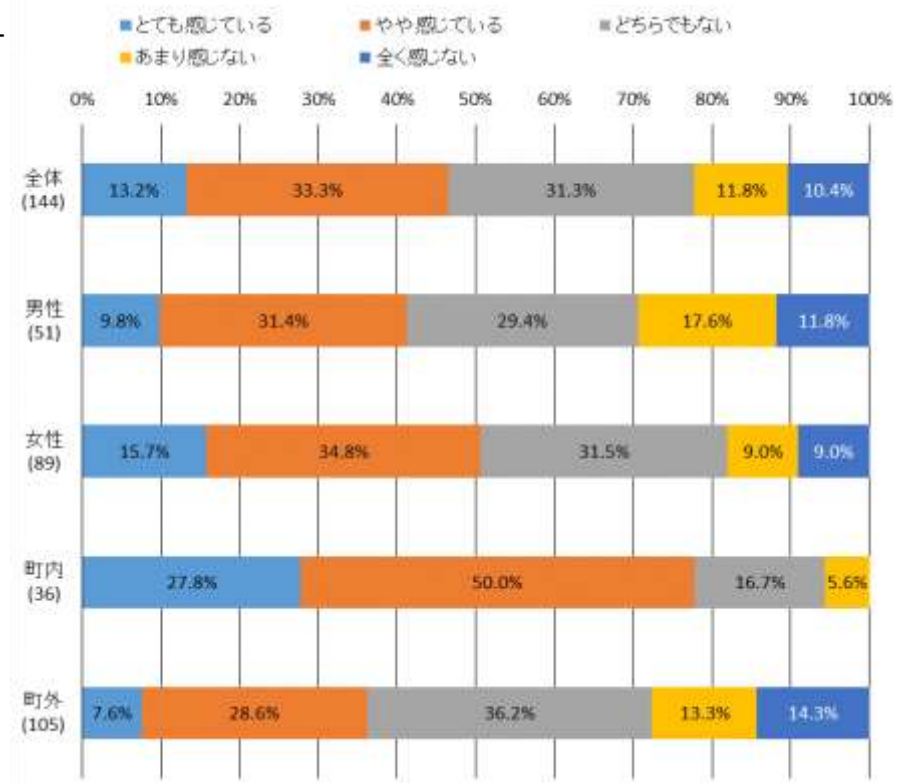
2-2 上三川町への愛着度について

1) 上三川町に対する愛着・親しみ〔単数回答〕

ー全体ー



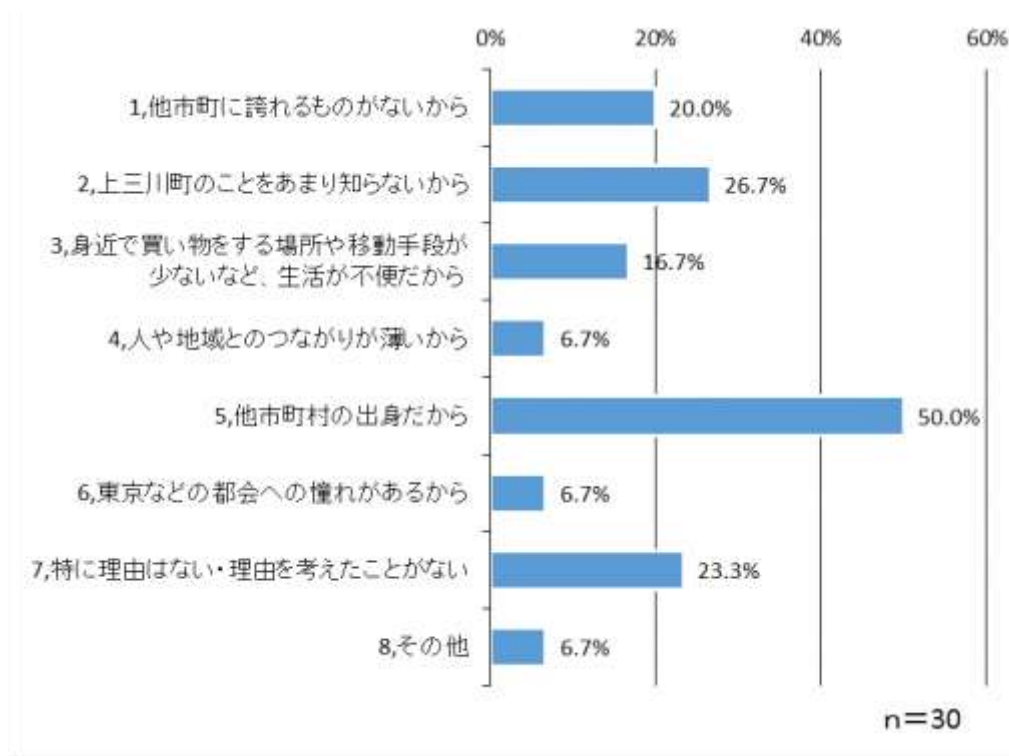
ー性別・住まい別ー



- “とても感じている” “やや感じている” の合計 (= “上三川町に愛着”) が 46.5% となっている。
- 男性では “上三川に愛着” が 41.2%、女性では 50.5% となり、女性の回答割合がやや高い傾向にある。
- 町内在住では “上三川町に愛着” が 77.8% と高い回答割合になっているものの、町外在住では “上三川町に愛着” が 36.2% と低く、“どちらでもない” の回答割合と同数になっている。

2) 上三川町に愛着をあまり感じない・全く感じないと思う理由〔複数回答〕

ー全体ー



ー『その他』意見の趣旨ー ※（ ）内の数値は意見数

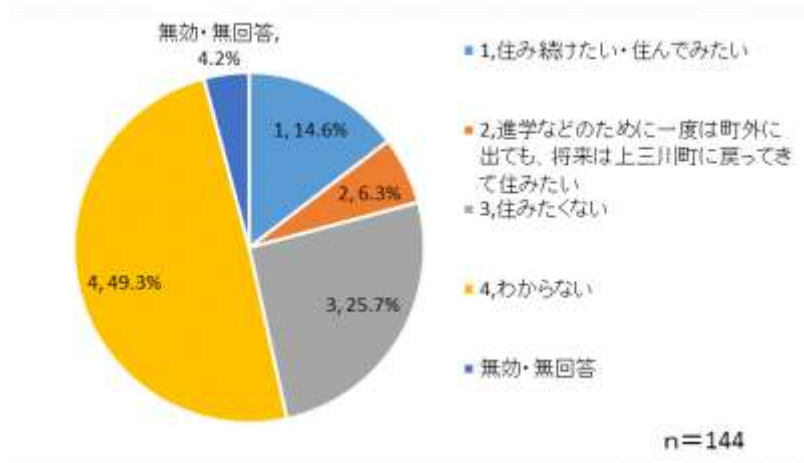
- ・興味がない。
- ・宇都宮がとても近く、買物先がほぼそっちだから。

○上三川町に愛着を“あまり感じない”“全く感じない”理由は、“他市町村の出身だから”が5割で半数、“上三川町のことをあまり知らないから”が約4人に1人の回答割合となっており、町との関わりの薄さや町に関する情報の不足が大きな要因となっていることがうかがえる。

2－3 上三川町への定住意向について

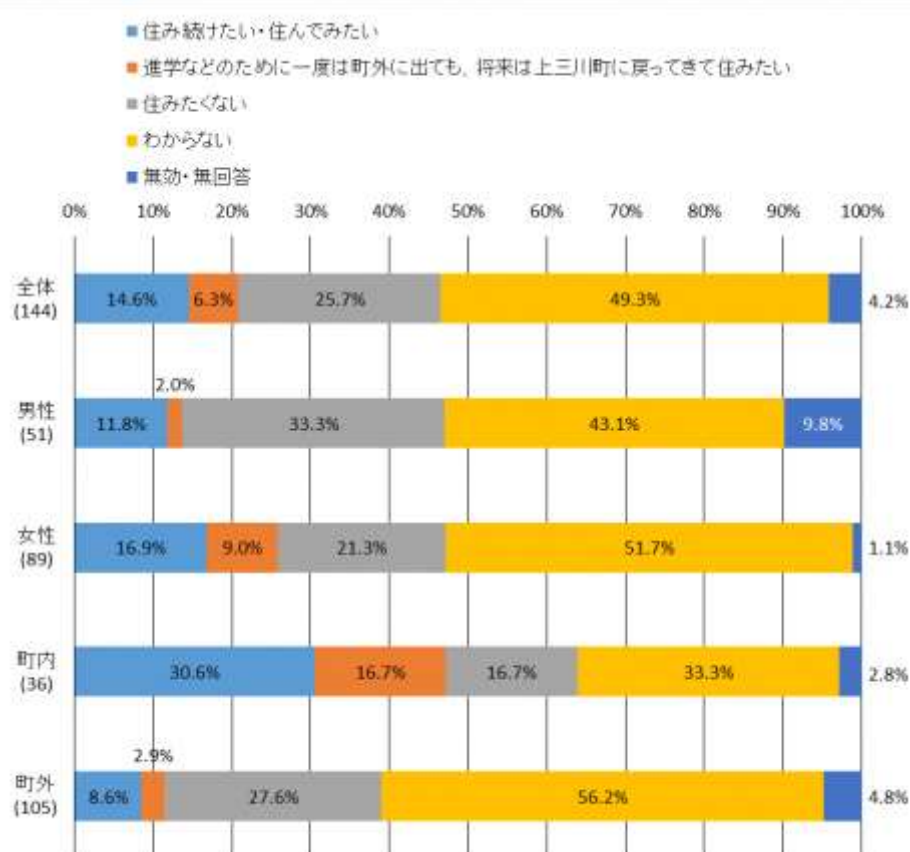
1) 上三川町にこれからも住み続けたい・これから住んでみたいか〔単数回答〕

－全体－



○前段の“住まいの場所”に対する回答者の約7割が“上三川町外”であることもあり、これから住んでみたいかどうか“わからない”が49.3%で最多となり、次いで“住みたくない”が約4人に1人の回答割合となっている。

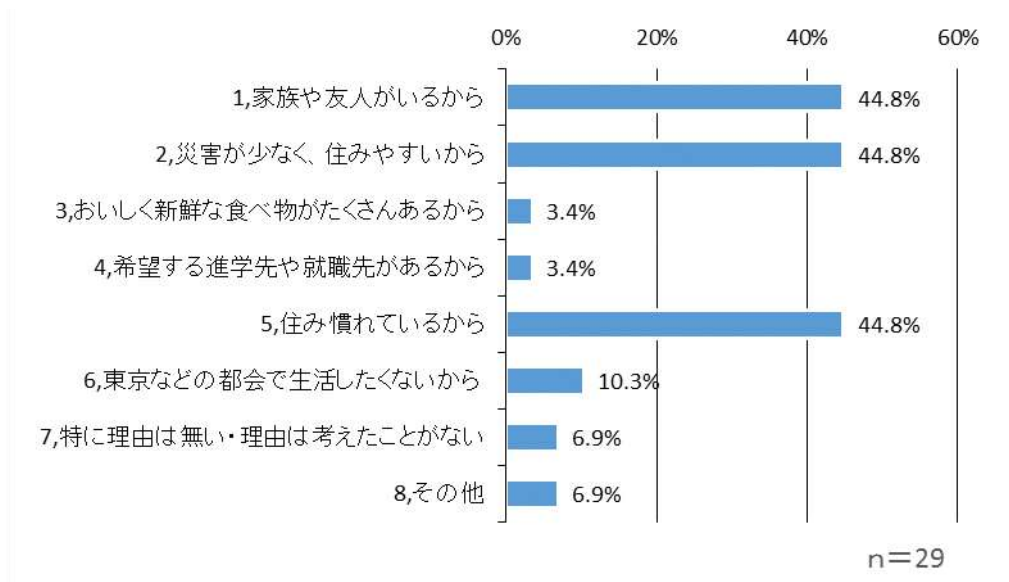
－性別・住まい別－



○男性では“わからない”が43.1%となり、女性では51.7%で最多となっている。
 ○町内在住では“住み続けたい・住んでみたい”“進学などのために一度は町外に出ても、将来は上三川町に戻ってきて住みたい”の合計(=“上三川町内に住みたい”)が47.3%と半数近くの回答割合となり、町外在住では“わからない”が56.2%で最多となっている。

2) 上三川町に住みたいと思う理由〔複数回答〕

－全体－



－『その他』意見の趣旨－ ※（ ）内の数値は意見数

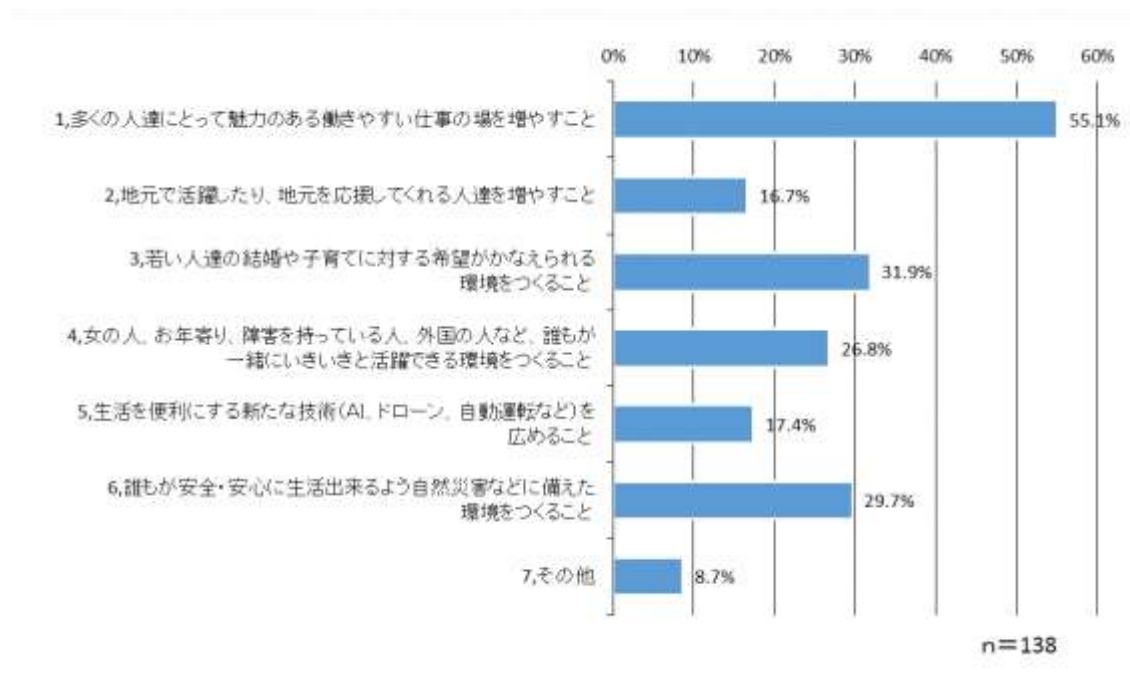
- ・親切で明るい人が多いから。
- ・自然がそこそこあって環境がきれい。生活に不便を感じないから。

○上三川町に“住みたい”“戻ってきて住みたい”の理由は、“家族や友人がいるから”“災害が少なく、住みやすいから”“住み慣れているから”が44.8%で同数となり、地元コミュニティに対する愛着や安心して暮らすことのできる生活環境が大きな要因となっていることがうかがえる。

2-4 上三川町のこれからのまちづくりや上三川町との関わり方について

1) 住み続けたい環境となるために積極的に実施すべき取組〔複数回答〕

ー全体ー

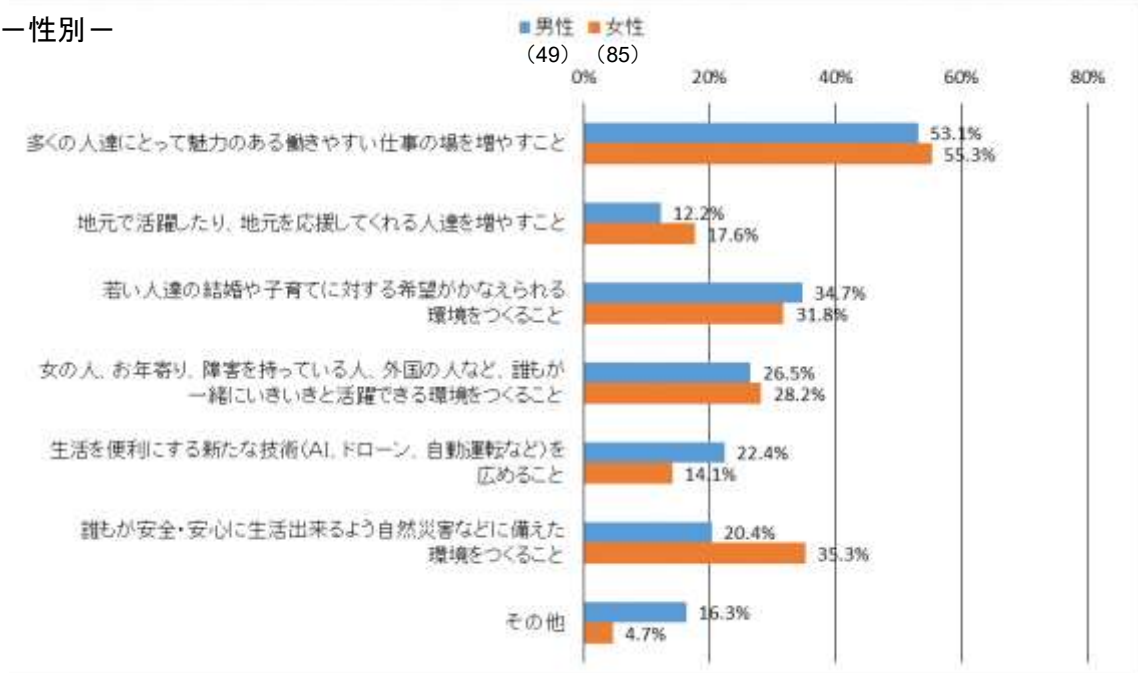


ー『その他』意見の趣旨ー ※（ ）内の数値は意見数

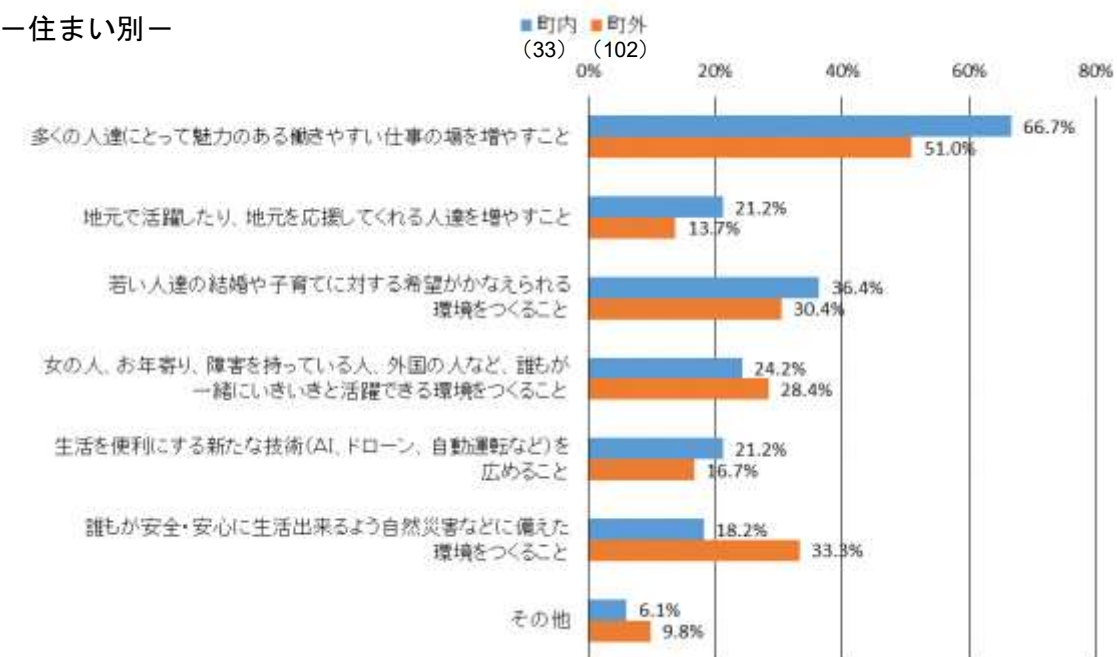
- ・商業施設や娯楽施設を整備する。(4)
- ・公共交通を整備する。(2)
- ・若者の定住を支援する。(2)
- ・分からない。(2)
- ・都市化する。
- ・地域を活性化するためには、今の不法政策を続けている政府を変える必要がある。

○ “多くの人達にとって魅力のある働きやすい仕事を増やすこと” が 55.1% で最多となり、次いで “若い人達の結婚や子育てに対する希望がかなえられる環境をつくること” が 31.9%、 “誰もが安全・安心に生活出来るよう自然災害などに備えた環境をつくること” が 29.7% と上位を占め、就職・結婚・子育てなど自らの身近な将来に関わる要素を選択する傾向がうかがえる。

—性別—



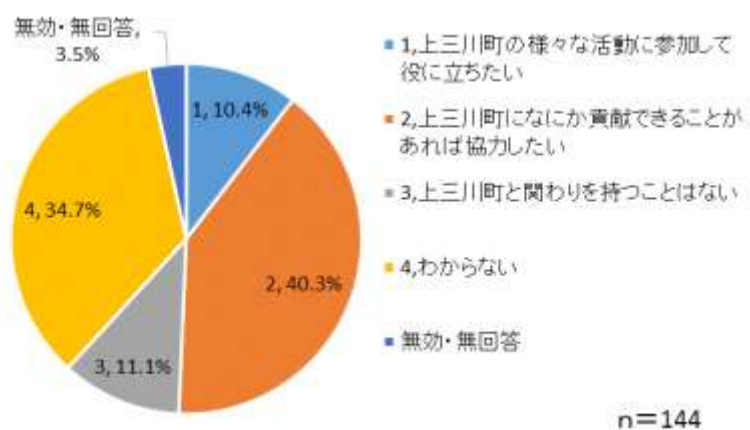
—住まい別—



- 男性では“多くの人達にとって魅力のある働きやすい仕事を増やすこと”が53.1%で最多となり、次いで“若い人達の結婚や子育てに対する希望がかなえられる環境をつくること”が34.7%の回答割合となっている。
- 女性では“多くの人達にとって魅力のある働きやすい仕事を増やすこと”が55.3%で最多となり、次いで“誰もが安全・安心に生活出来るよう自然災害などに備えた環境をつくること”が35.3%の回答割合となっている。
- 町内在住では66.7%、町外在住では51.0%が“多くの人達にとって魅力のある働きやすい仕事を増やすこと”と回答している。

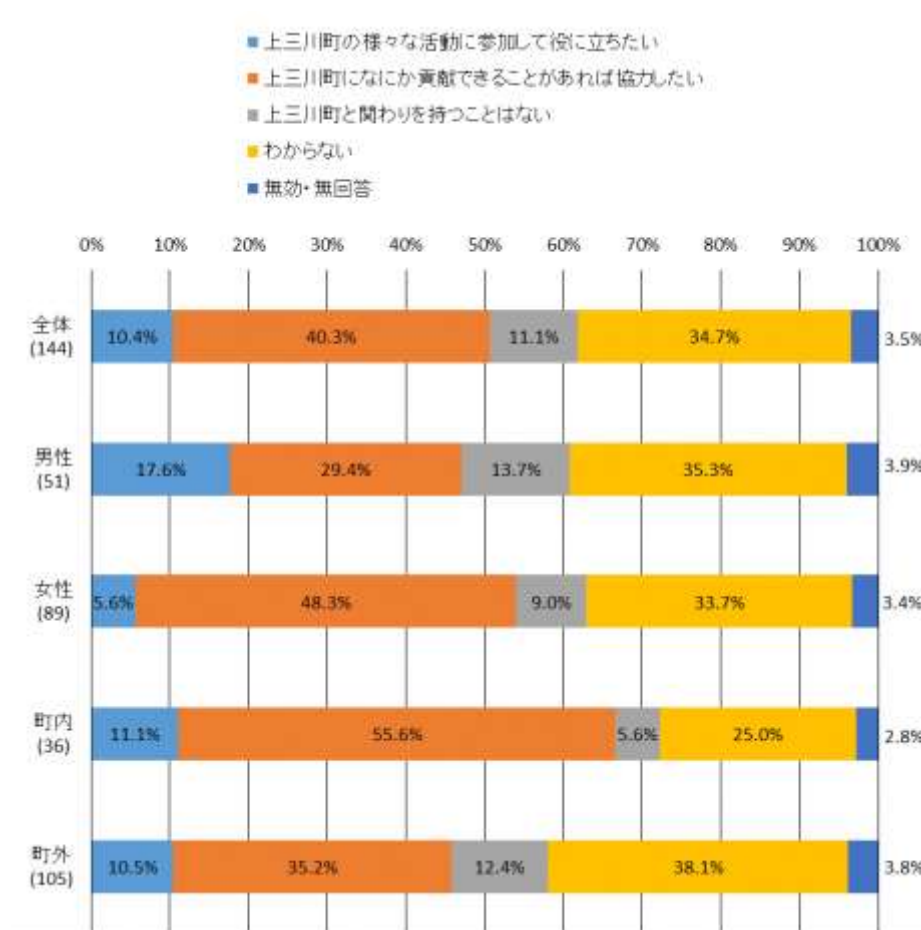
2) 上三川町との関わり方〔単数回答〕

－全体－



○ “上三川町の様々な活動に参加して役に立ちたい” “上三川町になにか貢献できることがあれば協力したい” の合計 (= “上三川町と関わる”) が 50.7% と半数を超えており、前段における “上三川町に愛着” がある回答割合 (46.5%) との関連がうかがえる結果となっている。

－性別・住まい別－

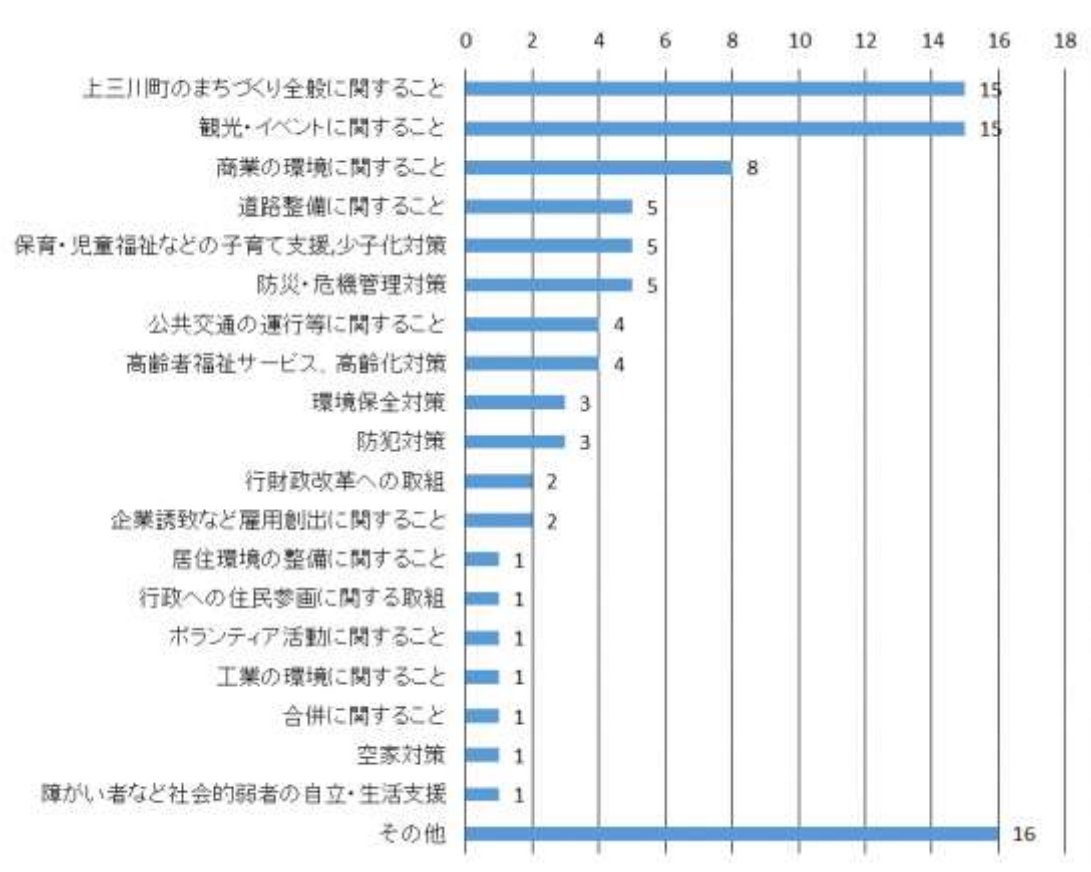


○男性では“上三川町と関わる”が47.0%となり、女性では53.9%となり、“上三川に愛着”があるの回答割合と同様、女性の回答割合がやや高い傾向にある。

○町内在住では“上三川町と関わる”が66.7%とやや高く、町外在住では45.7%であり、現時点での上三川町との関わりの有無が反映される結果となっている。

2-5 自由意見（町のためにしたいこと）

図表 町長になったら町のためにどのようなことがしたいか



※自由意見内容を項目ごとに分類し件数を把握